

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	水の森公園キャンプ場
2 指定管理者	公益財団法人仙台市公園緑地協会
3 指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和6年度 21,547人(前年度比 99.1%) 令和5年度 21,753人 令和4年度 25,849人 《事業》 ・キャンプ場管理業務 ・公園管理業務 ・イベントの企画・運営 ・環境学習事業への支援
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 20,665千円 (20,490千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円) 《収入》 ・ 使用料収入 3,194千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)
6 利用者の声	《実施状況》 ・利用者アンケート ・イベント参加者アンケート ・その他の手法による意見交換会の実施(水の森公園運営業議会を組織している)

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	施設の設置目的を十分に理解し、管理運営に反映させている。	24/24
II 施設の運営管理体制	・火災や自然災害・事故等に対応できるよう、マニュアルの整備や訓練を行うなど、安全な運営管理体制を構築している。 ・開館実績については、自主事業として供用期間外である3月にも開館し実績を上げている。 ・個人情報の取扱いに関する研修は年1回以上ではなく職員配属時に行われている。	24/25
III 施設・設備の維持管理	管理棟内の設備の保守、清掃等が適切に行われている。また、園内の芝生の刈込をこまめに実施し、適切な管理に努め、美観を維持している。	24/24
IV サービスの質の向上	管理棟内には、公園内に生息する動植物等について、わかりやすく工夫がされた展示物が並び、利用者の関心を引いている。キャンプ場利用者に対する窓口対応も、写真や図などの資料を使用し、わかりやすく丁寧に行われている。	28/28
V 施設固有の基準	運営協議会の事務局となり、市民活動団体と主体的に連携協力している。市民活動団体と協働で看板を作成するなどの取り組みを行っている。水の森公園の自然を活用した魅力的なイベントを実施しており、公園の利用促進に努めている。	7/5

三 評価総括

《指定管理者（公益財団法人仙台市公園緑地協会）による自己評価》
水の森公園キャンプ場の新規採用職員には当協会が主催する接遇研修の受講を義務付け、窓口対応のスキルアップを図った。機械作業に従事する職員には、事故防止・安全対策に必要な「作業用機械安全衛生教育」の受講を義務付けるとともに、指定管理施設のチーフが参加する担当者会議を開催し、ヒヤリハットの共有、事故防止研修会等を開催し、安全意識向上に向けた取り組みを行った。また、コンプライアンス意識の向上を図るため、「倫理・服務に係るセルフチェック」を年2回実施した。 施設の維持管理では、除草清掃などの植物管理を直営化することで、維持費用の縮減とともに、常に快適な環境の保持に努めた。また、一日2回以上の巡回を行うことにより、利用者が安心して過ごすことができる施設づくりを実践できた。 施設運営面では、水の森スタッフと本部スタッフとの定期的なミーティングを行い、禁止事項の見直しを図るなど、施設の利用ルール緩和措置を行い、ユーザーフレンドリーな施設運営を心掛けた。 公園管理における市民参画を目的として設けられている「水の森公園運営協議会」では、当協会が事務局としてそれぞれの活動等への支援を行った。会員である「水の森公園に親しむ会」では、当協会との共同事業として水の森公園の昆虫相調査を実施し、一般市民向けの観察会を行うなど、新たな取り組みを展開することができた。また、専門家を招き、講習会を開催し各会の知識の向上に努めた。 自主事業では、定番である「陶芸教室」、「キャンプ教室」、「白鳥観察会」に加えて花壇づくりや水の森公園運営協議会の新規会員である畠山商店の協力により、自然を使ったアクティビティである「ツリーイング」を実施し、参加者からの好評を得ることができた。

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
キャンプ場という特色ある施設に必要な維持管理や事故・災害に備えた体制構築をしっかりと行っている。また、都市近郊にある緑豊かな公園という特性を踏まえ、自然観察会の開催や園内で観察される動植物などの写真展示など、水の森公園が持つ施設以外の魅力も効果的に発信しており、当公園施設の設置目的である「豊かな自然の中で、21世紀を担う子供達が自ら考え行動できる場の創造」という理念を十分に理解した管理運営が行われている。利用者の評価も高い。利用者アンケート結果などを生かし、利用者のニーズに応えるよう工夫も重ねている。 また、運営協議会を組織し、NPO団体などとの連携にも努めていることも評価できる。	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項
スズメバチやツキノワグマ等の危険な生物の出現時にも、公園管理課や区公園課と協議しながら指定管理範囲外についても適切に対応している。

◎ 評価担当課（施設所管課）：建設局百年の杜推進部公園管理課